

# 平成 27 年度 自己評価結果公表シート

大阪東邦幼稚園

## 1、本園の教育目標

幼児教育を人間形成・すべての教育における土台として認識し、 ・健康で明るく、友だちと仲良く遊べる子ども ・色々なことに目を向け、よく考え、最後までやりぬく子ども ・素直で、生き生きとした心豊かな子ども ・ルールを守り、礼儀作法を身につけた子ども ・他を思いやる優しい心を持った子ども	を育成する
--	-------

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標の内容を確認し、子どもの実態を踏まえた計画を立て、教育内容のさらなる充実に取り組む。
--

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育目標を踏まえた指導計画の作成・実施	教育目標と幼児の実態・興味・関心を踏まえて、多角的に計画を立てている。 そして必要に応じて修正し、日々の保育で実践することが出来た。
教職員全員がお互いの保育内容を確認しあい、考察する。	毎日の話し合いで 1 日の保育を振り返り、行事終了後等にも反省点などを話し合っている。 また、個々に違う子どもの状況を教職員皆が把握し、保育の質をさらに高めている。
園外の研修会を積極的に受講し、他の教職員にもそれらの資料や情報を提供する。	外部研修に参加することで、保育者の専門性、人間性、社会性をより育むことが出来た。その学んだ内容はレポートにして報告し、皆で共有することができた。
保育環境の整備	子どもの日々の安全確保はさることながら、彼らの発達を促すような環境整備を心がけている。 また、火災・地震・津波を想定した避難訓練を定期的に行うだけでなく、火災・非常通報装置、空調設備、昇降機、受水槽なども点検と清掃で適宜改善することができている。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の検証により、全教職員が取り組まなければならない課題を見つけることが可能になった。そして、その課題を解決する話し合いが教育目標の達成に役立った。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
防災対策強化と訓練の質の向上	大地震や突然の災害・事件に対する防災・防犯安全対策として、教職員危機管理体制の充実、備品等の整備をする。また、様々な設定での訓練を行うとともに、その大切さをより子どもたちにも伝えていく。
「子ども・子育て支援新制度」について	平成 27 年 4 月から施行された「子ども・子育て支援新制度」について、国や市の「子ども・子育て会議」を注視し、正確な情報を収集し、今後どのような形で建学の精神に則った教育を提供することができるかを考える。

#### 6、学校関係者の評価

教職員みな子ども一人ひとりを把握し、教育目標を達成すべく、日々保育に前向きに取り組んでいることがわかる。

子どものよりよい発達を促すためにも家庭との連携をより密にし、これからも努力して欲しい。

#### 7、財務状況

公認会計士の指導監督によって行われている会計監査において、健全経営により、財務状況は適正であると評価されている。